



指令性[®]

「指令性」の才能の持ち主は、存在感があります。状況の主導権を握り、決断を下します。

「指令性」の才能が強い人は、自然に主導権を握ります。行ふべきことを見極め、進んで発言します。彼らは対決に怯えることはありません。むしろ、対決は解決策を見つけるための第一歩であることを知っています。物事を人々に明確に示したいと考え、現実的で正直になるように相手に求めます。この才能を持つ人はリスクを負うことを恐れませんが、「指令性」の才能が強い人は、ときに人を委縮させることがあります。この才能を不快に思う人もいますが、多くの場合、周りの人は喜んで彼らに主導権を握らせませす。立場を明確に示し、進んで先導する人に人々は惹かれるのです。

能力と優位性

「指令性」の強い人は、果敢さと感情的な明確さをもたらします。彼らは、通常なら避けたり語られることのないものに光を当てる能力があります。この才能は、対立や誤解を解決する力になります。

「指令性」が上位資質である人：

- 他の人が迷っているときに主導する準備をしておきます。
- 相手を説得することが必要な仕事を探しましょう。
 - 挑戦し甲斐のあるものはすべて受け、周りの人も一緒に連れて行くようにします。あなたは他の人を安全地帯から、成長するしか選択肢のない新たな領域へと導きます。
 - 人との関わりの中で、慎重さを要するデリケートな問題についても率直に話すように心がけます。真実から目をそらさないあなたの姿勢は、同僚や友人に精神的な強さと一貫性を示します。包み隠しのない率直な人物として評価されるように努めてください。
 - 同僚や友人が約束や義務を果たす手助けをします。あなたには、人に行動を起こすきっかけを与えられるという資質があります。
 - 大義を掲げ、それを貫きましょう。抵抗勢力の中で大義を守り抜くという場面で優れた能力を発揮するでしょう。
 - 代わりに引き受けたいという衝動を抑えなければならぬときがあります。常に自分が介入しなければならないと思わず、状況を見守るようにします。

「指令性」が下位資質である人：

- 「指令性」の才能が低いことは、リーダーシップの能力が低いことと同じではありません。たとえあなたがリーダーシップが必要になるような対立や乱暴な会話を好まないとしても、他のリーダーたちのような存在感が弱いとしても、関係性や説得力を使って成功する可能性があります。
- 上位の資質の中で、反対意見や抵抗に対応しなければならないとき、強さや決断力をもたらしてくれるもの（「信念」、「最上志向」、「責任感」、「自己確信」など）を見つけてください。
 - 意見の相違に出くわしたときは、人々があなたと違うものの見方をする理由を自問します。彼らは何か失うものがあるのか？ 違う情報を持っているのか？ 彼らが基盤とする価値観は何か？ これらの質問の答えを知ることが、彼らの懸念に対応し、同意へと近づけるのに役立ちます。
 - あなたは批判的な会話の準備をしているときに、最も能力を発揮するでしょう。データ、実証的な根拠、他の人の視点を収集するなど、事前に下調べをしておきます。これにより自尊心を高め、自分の見解を示すときに強力な論点を主張できるようになります。